

北朝鮮による核実験・弾道ミサイル等発射事案（1993～2012年）防衛省 令和7年4月

【1990年代】

核実験

日付	挑発の概要	場所	弾種(「」は北朝鮮の呼称)	飛翔距離
93.05.29	弾道ミサイル(可能性)を発射	不明	ノドン	約500km
98.08.31	「衛星」打ち上げとする発射	テポドン地区	テポドン1	約1,600km(分離した3つ目落下地点) 地球周回軌道に何らかの物体が投入 された形跡無し

【2006年】

日付	挑発の概要	場所	弾種(「」は北朝鮮の呼称)	飛翔距離
06.07.05	弾道ミサイル6発を発射	旗対嶺(キテリョン)地区	スカッド及ノドン	約400km
06.07.05	弾道ミサイル1発を発射	テポドン地区	テポドン2	不明、失敗と推定
06.10.9	1回目の核実験を実施	豊溪里(プンゲリ)		

【2009年】

日付	挑発の概要	場所	弾種(「」は北朝鮮の呼称)	飛翔距離
09.04.05	「衛星」打ち上げとする発射	テポドン地区	テポドン2又は派生型	3,000km以上(2段目以降落下地点) 物体が軌道を周回していることは確認 されておらず
09.05.25	2回目の核実験を実施	豊溪里(プンゲリ)		
09.07.04	弾道ミサイル7発を発射	旗対嶺(キテリョン)地区	スカッド又はノドン	最長約450km

【2012年】

日付	挑発の概要	場所	弾種(「」は北朝鮮の呼称)	飛翔距離
12.04.13	「衛星」打ち上げとする発射	東倉里(トンチャンリ)地区	テポドン2又は派生型	不明、失敗と推定
12.12.12	「衛星」打ち上げとする発射	東倉里(トンチャンリ)地区	テポドン2派生型	約2,600km(2段目落下地点) 地球周回軌道に何らかの物体を投入 させたと推定

北朝鮮による核実験・弾道ミサイル等発射事案（2013～2015年）

【2013年】

日付	挑発の概要	場所	弾種（「」は北朝鮮の呼称）	飛翔距離
13.02.12	3回目の核実験を実施	豊溪里（プンゲリ）		

【2014年】

日付	挑発の概要	場所	弾種（「」は北朝鮮の呼称）	飛翔距離
14.03.03	弾道ミサイル2発を発射	元山（ウォンサン）付近	スカッド	約500km
14.03.26	弾道ミサイル2発を発射	肅川（スクチョン）付近	ノドン	約650km
14.06.29	弾道ミサイル2発を発射	元山（ウォンサン）付近	スカッド	約500km
14.07.09	弾道ミサイル2発を発射	平壤の南方約100km	スカッド	約500km
14.07.13	弾道ミサイル2発を発射	開城（ケソン）付近	スカッド	約500km
14.07.26	弾道ミサイル1発を発射	海州（ヘジュ）の西方約100km	スカッド	約500km

【2015年】

日付	挑発の概要	場所	弾種（「」は北朝鮮の呼称）	飛翔距離
15.03.02	弾道ミサイル2発を発射	南浦（ナンポ）付近	スカッド	約500km

北朝鮮による核実験・弾道ミサイル等発射事案（2016年）

核実験

日付	挑発の概要	場所	弾種（「」は北朝鮮の呼称）	飛翔距離
16.01.06	4回目の核実験を実施	豊溪里（プンゲリ）		
16.02.07	「衛星」打ち上げとする発射	東倉里（トンチャンリ）	テポドン2派生型	約2,500km（2段目落下地点） 地球周回軌道に何らかの物体を投入させたと推定
16.03.10	弾道ミサイル2発を発射	西岸・南浦（ナンポ）付近	スカッド	約500km
16.03.18	弾道ミサイル1発を発射	西岸・肅川（スクチョン）付近	ノドン	約800km
16.04.15	弾道ミサイル1発を発射	東岸地域	ムスダン（指摘）	不明、失敗と推定
16.04.23	弾道ミサイル1発を発射	新浦（シンポ）沖	SLBM「北極星」	約30km（韓国合参）
16.04.28	弾道ミサイル2発を発射	元山（ウォンサン）	ムスダン	不明、失敗と推定
16.05.31	弾道ミサイル1発を発射	元山（ウォンサン）	ムスダン（可能性）	不明、失敗と推定
16.06.22	弾道ミサイル2発を発射	元山（ウォンサン）	ムスダン	1発目：約100km（最大） 2発目：約400km
16.07.09	弾道ミサイル1発を発射	新浦（シンポ）沖	SLBM「北極星」	数km（韓国報道）
16.07.19	弾道ミサイル3発を発射	西岸・黄州（ファンジュ）付近	スカッド及びノドン	1発目：約400km 3発目：約500km
16.08.03	弾道ミサイル2発を発射	西岸・殷栗（ウンニウル）付近	ノドン	約1,000km （1発は発射直後に爆発）
16.08.24	弾道ミサイル1発を発射	新浦（シンポ）付近	SLBM「北極星」	約500km
16.09.05	弾道ミサイル3発を発射	西岸・黄州（ファンジュ）付近	スカッドER	約1,000km
16.09.09	5回目の核実験を実施	豊溪里（プンゲリ）		
16.10.15	弾道ミサイル1発を発射	西岸・亀城（クソン）付近	ムスダン	不明、失敗と推定
16.10.20	弾道ミサイル1発を発射	西岸・亀城（クソン）付近	ムスダン	不明、失敗と推定

北朝鮮による核実験・弾道ミサイル等発射事案（2017年）

核実験

日付	挑発の概要	場所	弾種（「」は北朝鮮の呼称）	飛翔距離
17.02.12	弾道ミサイル1発を発射	西岸・亀城（クソン）付近	SLBMを地上発射型に改良した弾道ミサイル「北極星2」	約500km
17.03.06	弾道ミサイル4発を発射	西岸・東倉里（トンチャンリ）付近	スカッドER	約1,000km
17.03.22	弾道ミサイル1発を発射	元山（ウォンサン）付近	分析中	発射後数秒以内に爆発、失敗と推定
17.04.05	弾道ミサイル1発を発射	新浦（シンポ）付近	分析中	約60km
17.04.16	弾道ミサイル1発を発射	新浦（シンポ）付近	分析中	発射直後に爆発、失敗と推定
17.04.29	弾道ミサイル1発を発射	北倉（プクチャン）付近	分析中	約50km離れた内陸部に落下、失敗と推定
17.05.14	弾道ミサイル1発を発射	西岸・亀城（クソン）付近	IRBM級の弾道ミサイル「火星12」	約800km
17.05.21	弾道ミサイル1発を発射	北倉（プクチャン）付近	SLBMを地上発射型に改良した弾道ミサイル「北極星2」	約500km
17.05.29	弾道ミサイル1発を発射	元山（ウォンサン）付近	スカッドミサイルを改良した弾道ミサイル	約400km
17.07.04	弾道ミサイル1発を発射	西岸・亀城（クソン）付近	ICBM級の弾道ミサイル「火星14」	約900km
17.07.28	弾道ミサイル1発を発射	舞坪里（ムピョンニ）付近	ICBM級の弾道ミサイル「火星14」	約1,000km
17.08.29	弾道ミサイル1発を発射	順安（スナン）付近	IRBM級の弾道ミサイル「火星12」	約2,700km
17.09.03	6回目の核実験を実施	豊溪里（プンゲリ）		
17.09.15	弾道ミサイル1発を発射	順安（スナン）付近	IRBM級の弾道ミサイル「火星12」	約3,700km
17.11.29	弾道ミサイル1発を発射	平城（ピョンソン）付近	ICBM級の弾道ミサイル「火星15」	約1,000km

北朝鮮による弾道ミサイル等発射事案（2019年）

日付	挑発の概要	場所	弾種（「」は北朝鮮の呼称）	飛翔距離
19.05.04	弾道ミサイル2発を発射	虎島（ホド）半島	短距離弾道ミサイル（A）	最大250km程度
19.05.09	弾道ミサイル2発を発射	西岸・亀城（クソン）付近	短距離弾道ミサイル（A）	1発目：400km程度 2発目：250km程度
19.07.25	弾道ミサイル2発を発射	虎島（ホド）半島	短距離弾道ミサイル（A）	600km程度
19.07.31	弾道ミサイル（可能性）2発を発射	元山（ウォンサン）付近	短距離弾道ミサイル（可能性）	250km程度
19.08.02	弾道ミサイル（可能性）2発を発射	永興（ヨンフン）付近	短距離弾道ミサイル（可能性）	250km程度
19.08.06	弾道ミサイル2発を発射	クァイル付近	短距離弾道ミサイル（A）	450km程度
19.08.10	弾道ミサイル2発を発射	咸興（ハムフン）付近	短距離弾道ミサイル（B）	400km程度
19.08.16	弾道ミサイル2発を発射	通川（トンチョン）付近	短距離弾道ミサイル（B）	250km程度
19.08.24	弾道ミサイル2発を発射	宣徳（ソンドク）付近	短距離弾道ミサイル（C）	350～400km程度
19.09.10	弾道ミサイルを2発発射	价川（ケチョン）付近	短距離弾道ミサイル（C）	300～350km程度
19.10.02	弾道ミサイル1発を発射	元山（ウォンサン）付近	SLBM「北極星3」	約450km
19.10.31	弾道ミサイルを2発発射	順川（スンチョン）付近	短距離弾道ミサイル（C）	350～400km程度
19.11.28	弾道ミサイルを2発発射	連浦（ヨンポ）付近	短距離弾道ミサイル（C）	380km程度

北朝鮮による弾道ミサイル等発射事案（2020～21年）

【2020年】

日付	挑発の概要	場所	弾種	飛翔距離
20.03.02	弾道ミサイル2発を発射	元山(ウォンサン)付近	短距離弾道ミサイル(C)	約240km程度
20.03.09	弾道ミサイル2発を発射	宣徳(ソンドク)付近	短距離弾道ミサイル(C)	最大約200km程度
20.03.21	弾道ミサイル2発を発射	宣川(ソンチョン)付近	短距離弾道ミサイル(B)	約400km程度
20.03.29	弾道ミサイル2発を発射	元山(ウォンサン)付近	短距離弾道ミサイル(C)	約250km程度

【2021年】

日付	挑発の概要	場所	弾種	飛翔距離
21.03.25	弾道ミサイル2発を発射	宣徳(ソンドク)付近	短距離弾道ミサイル(D)	約600km
21.09.15	弾道ミサイル2発を発射	北朝鮮内陸部	短距離弾道ミサイル(鉄道発射型)	約750km程度
21.09.28	弾道ミサイルの可能性のあるもの1発を発射	北朝鮮内陸部	弾道ミサイルの可能性のあるもの	分析中
21.10.19	弾道ミサイル1発を発射	新浦(シンポ)付近	新型の潜水艦発射弾道ミサイル	約600km程度

北朝鮮による弾道ミサイル等発射事案（2022年①）

日付	挑発の概要	場所	弾種（「」は北朝鮮の呼称）	飛翔距離
22.01.05	弾道ミサイル1発を発射	北朝鮮内陸部	新型弾道ミサイル	約500km（※）
22.01.11	弾道ミサイル1発を発射	北朝鮮内陸部	弾道ミサイル	－
22.01.14	弾道ミサイル2発を発射	北朝鮮北西部	短距離弾道ミサイル（鉄道発射型）	約400km（※）
22.01.17	弾道ミサイル2発を発射	北朝鮮西部	短距離弾道ミサイル（B）	約300km（※）
22.01.27	弾道ミサイル2発を発射	北朝鮮東部	短距離弾道ミサイル（A）	－
22.01.30	弾道ミサイル1発を発射	北朝鮮内陸部	IRBM級の弾道ミサイル「火星12」	約800km程度
22.02.27	弾道ミサイル1発を発射	平壤近郊	ICBM級の弾道ミサイル「火星17」	約300km程度
22.03.05	弾道ミサイル1発を発射	平壤近郊	ICBM級の弾道ミサイル「火星17」	約300km程度
22.03.16	弾道ミサイル1発を発射	平壤近郊	弾道ミサイル	－
22.03.24	弾道ミサイル1発を発射	平壤近郊	ICBM級の弾道ミサイル「火星17」	約1,100km
22.05.04	弾道ミサイル1発を発射	北朝鮮西岸付近	ICBM級の弾道ミサイル「火星17」	約500km程度
22.05.07	弾道ミサイル1発を発射	新浦（シンポ）付近	新型の潜水艦発射弾道ミサイル	約600km程度
22.05.12	弾道ミサイル3発を発射	北朝鮮西岸付近	短距離弾道ミサイル（C）	約350km程度（※）
22.05.25	弾道ミサイル2発を発射	北朝鮮西岸付近	ICBM級の弾道ミサイル「火星17」 及び短距離弾道ミサイル（AまたはDの可能性）	ICBM級弾道ミサイル：約300km程度 短距離弾道ミサイル：約750km程度
22.06.05	弾道ミサイル8発を発射	ミサイル①：西岸付近 ミサイル②：東岸付近 ミサイル③：西岸付近 ミサイル④：内陸部付近 ミサイル⑤：西岸付近 ミサイル⑥：内陸部付近 （注）上記6発以外にも2発の弾道ミサイルを発射	短距離弾道ミサイル（A、B、Cを含む）	ミサイル①：約350km程度 ミサイル②：約300km程度 ミサイル③：約400km程度 ミサイル④：約350km程度 ミサイル⑤：約400km程度 ミサイル⑥：約300km程度 （注）上記6発以外にも2発の弾道ミサイルを発射。極めて低い高度で短距離を飛翔。

（※）通常の弾道軌道であるとした場合

北朝鮮による弾道ミサイル等発射事案（2022年②）

日付	挑発の概要	場所	弾種（「」は北朝鮮の呼称）	飛翔距離
22.09.25	弾道ミサイル1発を発射	北朝鮮内陸部	新型の潜水艦発射弾道ミサイル	約650km程度
22.09.28	弾道ミサイル2発を発射	北朝鮮西岸付近	短距離弾道ミサイル(D)	1発目：約350km程度 2発目：約300km程度
22.09.29	弾道ミサイル2発を発射	北朝鮮西岸付近	短距離弾道ミサイル(C)	約300km程度
22.10.01	弾道ミサイル2発を発射	北朝鮮西岸付近	短距離弾道ミサイル(A)	1発目：約400km程度 2発目：約350km程度
22.10.04	弾道ミサイル1発を発射	北朝鮮内陸部	IRBM以上の射程を有する弾道ミサイル(新型のIRBM級弾道ミサイルの可能性も否定できず)	約4,600km程度
22.10.06	弾道ミサイル2発を発射	北朝鮮内陸部	短距離弾道ミサイル(C、A)	1発目：約350km程度 2発目：約800km程度
22.10.09	弾道ミサイル2発を発射	北朝鮮東岸付近	短距離弾道ミサイル(C)	約350km程度
22.10.14	弾道ミサイル1発を発射	平壤近郊	短距離弾道ミサイル(A)	約650km程度
22.11.02	弾道ミサイル少なくとも2発を発射	北朝鮮東岸付近	弾道ミサイル	約150km程度/約200km程度
	弾道ミサイル(可能性)少なくとも1発を発射	北朝鮮東岸付近	弾道ミサイル(可能性)	－
22.11.03	弾道ミサイル3発を発射	1発目(ICBM級)：北朝鮮西岸付近 2・3発目：北朝鮮内陸部	ICBM級の弾道ミサイル「火星17」及び短距離弾道ミサイル(C)	1発目：約750km程度 2・3発目：約350km程度
	弾道ミサイル3発を発射	北朝鮮内陸部	スカッドC	約500km程度
22.11.09	弾道ミサイル1発を発射	北朝鮮西岸付近	短距離弾道ミサイル(A又はDの可能性)	約250km程度
22.11.17	弾道ミサイル1発を発射	北朝鮮東岸付近	短距離弾道ミサイル(C)	－
22.11.18	弾道ミサイル1発を発射	平壤近郊	ICBM級の弾道ミサイル「火星17」	約1,000km
22.12.18	弾道ミサイル2発を発射	東倉里(トンチャンリ)一帯	弾道ミサイル(スカッドERベースの可能性)	約500km程度
22.12.23	弾道ミサイル1発を発射	平壤近郊	弾道ミサイル(「極超音速ミサイル」と称する弾道ミサイルであった可能性)	約300km程度
22.12.31	弾道ミサイル3発を発射	平壤近郊	短距離弾道ミサイル(C)	約350km程度

北朝鮮による弾道ミサイル等発射事案（2023年①）

日付	挑発の概要	場所	弾種（「」は北朝鮮の呼称）	飛翔距離
23.01.01	弾道ミサイル1発を発射	北朝鮮西岸付近	短距離弾道ミサイル（C）	約350km程度
23.02.18	弾道ミサイル1発を発射	平壤近郊	ICBM級の弾道ミサイル「火星15」	約1,000km
23.02.20	弾道ミサイル2発を発射	北朝鮮西岸付近	短距離弾道ミサイル（C）	1発目：約400km程度 2発目：約350km程度
23.03.16	弾道ミサイル1発を発射	平壤近郊	ICBM級の弾道ミサイル「火星17」	約1,000km
23.03.19	弾道ミサイル1発を発射	北朝鮮西岸付近	短距離弾道ミサイル（A）	約800km程度
23.03.27	弾道ミサイル2発を発射	北朝鮮西岸付近	短距離弾道ミサイル（A）	約350km程度
23.04.13	弾道ミサイル1発を発射	平壤付近	ICBM級の弾道ミサイル「火星18」	約1,000km程度
23.05.31	衛星打ち上げを目的とする 弾道ミサイル技術を使用した発射	東倉里（トンチャンリ）付近	－	－（黄海上空で消失。衛星打ち上げを試み、それに失敗）
23.06.15	弾道ミサイル少なくとも2発を発射	北朝鮮西岸付近	短距離弾道ミサイル	1発目：約850km程度 2発目：約900km程度
23.07.12	弾道ミサイル1発を発射	平壤近郊	ICBM級の弾道ミサイル「火星18」	約1,000km
23.07.19	弾道ミサイル2発を発射	北朝鮮西岸付近	弾道ミサイル	1発目：約550km程度 2発目：約600km程度
23.07.24	弾道ミサイル2発を発射	北朝鮮内陸部	短距離弾道ミサイル	1発目：約350km程度 2発目：約400km程度
23.08.24	衛星打ち上げを目的とする 弾道ミサイル技術を使用した発射	東倉里（トンチャンリ）地区	－	－（地球周回軌道への衛星の投入は確認されておらず、衛星打ち上げに失敗）
23.08.30	弾道ミサイル2発を発射	北朝鮮西岸付近	短距離弾道ミサイル（B）	1発目：約350km程度 2発目：約400km程度
23.09.13	弾道ミサイル2発を発射	北朝鮮西岸付近	短距離弾道ミサイル（A）	1発目：約650km程度 2発目：約650km程度

北朝鮮による弾道ミサイル等発射事案（2023年②）

日付	挑発の概要	場所	弾種（「」は北朝鮮の呼称）	飛翔距離
23.11.21	衛星打ち上げを目的とする 弾道ミサイル技術を使用した発射	東倉里（トンチャンリ）地区	－	－（何らかの物体が地球を周回していることを確認）
23.12.17	弾道ミサイル1発を発射	北朝鮮西岸付近	短距離弾道ミサイル	約400km程度
23.12.18	弾道ミサイル1発を発射	平壤近郊	ICBM級の弾道ミサイル「火星18」	約1,000km

北朝鮮による弾道ミサイル等発射事案（2024年）

日付	挑発の概要	場所	弾種（「」は北朝鮮の呼称）	飛翔距離
24.01.14	弾道ミサイル1発を発射	北朝鮮内陸部	新型のIRBM級の弾道ミサイル	少なくとも約500km程度
24.03.18	弾道ミサイル少なくとも3発を発射	北朝鮮西岸付近	短距離弾道ミサイル（C）	約350km程度
24.04.02	弾道ミサイル1発を発射	北朝鮮西岸	新型のIRBM級の弾道ミサイル	約650km以上
24.04.22	弾道ミサイル少なくとも1発を発射	北朝鮮内陸部	短距離弾道ミサイル（C）	約250km以上
24.05.27	衛星打ち上げを目的とする 弾道ミサイル技術を使用した発射	東倉里（トンチャンリ）地区	－	－（黄海上空で消失。衛星打ち上げを試み、それに失敗）
24.05.30	弾道ミサイル複数発を発射	北朝鮮内陸部	短距離弾道ミサイル（C）	少なくとも1発は約350km以上
24.06.26	弾道ミサイル少なくとも1発を発射	北朝鮮内陸部	IRBM級の弾道ミサイル	約200km以上
24.09.12	弾道ミサイル複数発を発射	北朝鮮西岸	短距離弾道ミサイル（C）	少なくとも2発は約350kmを超えて飛翔
24.09.18	弾道ミサイル複数発を発射	北朝鮮内陸部	短距離弾道ミサイル	－
24.10.31	弾道ミサイル少なくとも1発を発射	平壤近郊	ICBM級の弾道ミサイル （北朝鮮は「火星19」と呼称）	約1,000km
24.11.05	弾道ミサイル複数発を発射	北朝鮮西岸付近	短距離弾道ミサイル	少なくとも7発は約400km程度

北朝鮮による弾道ミサイル等発射事案（2025年）

日付	挑発の概要	場所	弾種（「」は北朝鮮の呼称）	飛翔距離
25.01.06	弾道ミサイル少なくとも1発を発射	北朝鮮内陸部	IRBM級の弾道ミサイル	約1,100km